
先駆的で魅力のある作品を顕彰します！
第 3 回白髪一雄現代美術賞の募集を行います。

1 趣旨

尼崎市は、第 3 回白髪一雄現代美術賞の募集を行います。この表彰は、既成概念にとらわれない前衛作品を発信し世界的に評価された尼崎市ゆかりの抽象画家・白髪一雄にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を募集します。現代美術における若手アーティストの発表、創造の機会の創出および若手アーティストのこれからの活躍を応援することを目的とします。

2 応募資格

- (1) 令和 8 年 4 月 1 日現在で 40 歳以下の個人、またはグループ。
- (2) 現代美術の分野において活躍し、発表経験があること。
- (3) 受賞後、令和 8 年 5～6 月頃（予定）A-LAB にて展示を行うこと。
- (4) 展示の企画に関わり主体的な実施が可能なこと。新作の出品を含むものであること。

3 応募方法

応募者は応募用紙（HP よりダウンロードできます）に必要事項をすべて記入し、提出書類とともにメールにて応募してください。選考は書類にて行いますので、作品そのものは送らないでください。作品のプランは一人一点とします。

募集期間 令和 7 年 1 月 5 日（日）～3 月 21 日（金）

提出先 bunka@archaic.or.jp（（公財）尼崎市文化振興財団 美術課）

添付ファイルが合計 5MB 以上になる場合には、ファイルアップロードサービス等を利用し送付ください。

提出書類 ①必要事項をすべて記入した応募用紙

②作品のプラン（様式自由。A-LAB での展示を前提にしてください。）

③過去の活動がわかるポートフォリオ（様式自由）

問合せ （公財）尼崎市文化振興財団 美術課

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通 2 丁目 7-16 TEL 06-6487-0806

事務局担当：田野、八木

※作品のジャンルや手法、素材、サイズなどは自由ですが、第三者の著作権や肖像権を侵害するもの、公序良俗に反するものは対象外です。

※お申込みの際にご記入いただいた氏名、住所などの個人情報は、個人情報保護法その他関連法令を遵守するとともに、その情報の運用については、主催者が適正に管理し、白髪一雄現代美術賞に関する送付や連絡など業務に必要と思われる目的のみに利用いたします。

4 受賞者の決定

白髪賞選考会によって厳正に選考します。

選考結果は応募者全員に令和7年7月中（予定）に通知します。選考結果および入落選の理由等のお問い合わせには応じられません。

プランの詳細について、事務局から選考前にヒアリングする場合があります。

選考委員（敬称略、五十音順）

岡本梓（市立伊丹ミュージアム学芸員／主査）

加藤義夫（美術評論家、宝塚市立文化芸術センター館長）

林葵衣（アーティスト、第1回白髪一雄現代美術賞受賞者）

福土理（東京オペラシティアートギャラリーシニア・キュレーター）

池上司（公益財団法人尼崎市文化振興財団アートディレクター）

5 尼崎市による表彰内容

(1) 白髪賞副賞 30万円

(2) A-LAB で開催する展覧会開催に係る経費の一部

例：出品謝礼、フライヤー・報告書作成、それらの郵送、展示設営資材・消耗品、会場記録撮影など

※依頼先はいずれも主催者側が決定する。支払いは展覧会開催年度である令和8年4月以降とする。

(3) A-LAB での展覧会や関連イベントの実施、広報に関するサポート

6 注意事項

次の場合には受賞者の決定を取り消し、または、賞金等を返還していただくことがあります。

(1) 応募内容に虚偽があった場合

(2) 条件を満たす発表が実施不可と見込まれる場合

7 スケジュール（予定）

令和7年1月5日～3月21日 募集期間

令和7年4～5月 選考

令和7年7月 受賞者決定、授賞式

令和8年5～6月 展覧会ほか実施

以 上

既成概念にとらわれない前衛作品を発信し、世界的に評価された尼崎市ゆかりの抽象画家・白髪一雄にちなんだ美術賞です。若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品のプランをお待ちしています。

第3回

白髪一雄 現代美術賞

白髪一雄とは

抽象画家・白髪一雄(しらが・かずお 1924-2008)は、床に広げたキャンパスの上に絵具の塊を置き、天井から吊るしたロープにつかまってそれを素足で画面全体に展開させる方法で描きました。全身の力を込めて描かれた迫力のある作品は観る人に強烈な印象を与えます。

白髪は戦後日本をリードした前衛美術グループ「具体美術協会」で中心的なメンバーのひとりとして国際的に活躍したことで知られています。世界的に評価されている白髪の作品は、国内外の美術館に収蔵されています。

募集案内

賞金 | 30万円 + 展覧会開催経費(詳細は裏面)

募集期間 | 2025年1月5日(日)～3月21日(金)

選考委員(敬称略、五十音順) |

岡本梓(市立伊丹ミュージアム学芸員/主査)

加藤義夫(美術評論家、宝塚市立文化芸術センター館長)

林葵衣(アーティスト、第1回白髪一雄現代美術賞受賞者)

福士理(東京オペラシティアートギャラリーシニア・キュレーター)

池上司(公益財団法人尼崎市文化振興財団アートディレクター)

スケジュール(予定) |

2025年 1～3月

4～5月

7月

2026年 5～6月

募集期間

選考

受賞者決定、授賞式

展覧会ほか実施



上:白髪一雄《天雷星撰天龍》1963年、尼崎市蔵
下:アトリエでの制作風景 1963年



募集案内

第3回 白髪一雄現代美術賞

既成概念にとらわれない前衛作品を発信し世界的に評価された尼崎市ゆかりの現代美術画家・白髪一雄氏にちなみ、若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を募集します。

現代美術における若手アーティストの発表、創造の機会の創出および若手アーティストのこれからの活躍を応援することを目的とします。

| 主催 |

尼崎市、公益財団法人尼崎市文化振興財団

| 応募資格 |

- (1) 2026年4月1日現在で40歳以下の個人、またはグループ。
- (2) 現代美術の分野において活躍し、発表経験があること。
- (3) 受賞後、2026年5～6月頃(予定)A-LABにて展示を行うこと。
- (4) 展示の企画に関わり主体的な実施が可能なおこと。新作の出品を含むものであること。

| 応募方法 |

応募者は応募用紙(HPよりダウンロードできます)に必要事項をすべて記入し、提出書類とともにメールにて応募してください。選考は書類にて行いますので、作品そのものは送らないでください。作品のプランは一人一点とします。

締切期限 2025年3月21日(金)

提出先 bunka@archaic.or.jp ((公財) 尼崎市文化振興財団 美術課)

添付ファイルが合計5MB以上になる場合には、ファイルアップロードサービス等を利用し送付ください。

提出書類 ①必要事項をすべて記入した応募用紙

②作品のプラン(様式自由。A-LABでの展示を前提にしてください。)

③過去の活動がわかるポートフォリオ(様式自由)

問合せ (公財) 尼崎市文化振興財団 美術課

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2丁目7-16 TEL:06-6487-0806 FAX:06-6482-3503

※作品のジャンルや手法、素材、サイズなどは自由ですが、第三者の著作権や肖像権を侵害するもの、公序良俗に反するものは対象外です。

※お申込みの際にご記入いただいた氏名、住所などの個人情報は、個人情報保護法その他関連法令を遵守するとともに、

その情報の運用については、主催者が適正に管理し、白髪一雄現代美術賞に関する送付や連絡など業務に必要と思われる目的のみに利用いたします。

| 選考 |

白髪賞選考会によって厳正に選考します。選考結果は応募者全員に2025年7月中(予定)に通知します。

選考結果および入落選の理由等のお問い合わせには応じられません。

プランの詳細について、事務局から選考前にヒアリングする場合があります。

《選考委員》(敬称略、五十音順)

岡本 梓 (市立伊丹ミュージアム学芸員/主査)

加藤 義夫 (美術評論家、宝塚市立文化芸術センター館長)

林 葵衣 (アーティスト、第1回白髪一雄現代美術賞受賞者)

福士 理 (東京オペラシティアートギャラリーシニア・キュレーター)

池上 司 (公益財団法人尼崎市文化振興財団アートディレクター)

| 賞の内容および賞金 |

(1) 白髪賞副賞 30万円

(2) A-LABで開催する展覧会開催に係る経費の一部

例: 出品謝礼、フライヤー・報告書作成、それらの郵送、展示設置資材・消耗品、会場記録撮影など

※依頼先はいずれも主催者側が決定する。支払いは展覧会開催年度である2026年4月以降とする。

(3) A-LABでの展覧会や関連イベントの実施、広報に関するサポート

| 注意事項 |

次の場合には受賞者の決定を取り消し、

または、賞金等を返還していただくことがあります。

(1) 応募内容に虚偽があった場合

(2) 条件を満たす発表が実施不可と見込まれる場合

| スケジュール(予定) |

2025年1月5日～3月21日	募集期間
4～5月	選考
7月	受賞者決定、授賞式
2026年 5～6月	展覧会ほか実施

第1回受賞者 林 葵衣

《Phonation piece — syllabary —》2022年

可変、素材: ポリエチレン樹脂

photo by 寺屋友樹



第2回受賞者 井上裕加里

《女性は罪を贖うために死ぬ》2022年

